

養老町公共施設統合等検討資料

養老町

特命事項推進チーム

(公共施設等の維持管理)

令和4年3月

1 目的

本町の公共施設等は、老朽化の進行、人口減少社会の到来、厳しい財政状況、大規模災害等への対応など様々な課題が顕在化している。

このような状況から、本町は公共施設等に係るこれらの課題に対して、中長期的かつ全庁横断的な視点で、公共施設等の質と量、コストの最適化に取り組むために令和3年度に「養老町公共施設等総合管理計画」(以下「管理計画」という。)を改訂するところである。

管理計画において、施設保有量の削減を求めらる中で、機能集約が可能であると見込まれる下記の対象施設について、保有量削減の可能性を検討する。

2 対象施設

対象施設名称	構造	築年数	延床面積
老人福祉センター	鉄筋コンクリート	39年	673.89 m ²
保健センター	鉄筋コンクリート	32年	1082.31 m ²

3 前提条件及び検討事項

3.1 前提条件

○人口推移

- ・人口は、令和2年度時点で28,700人、令和22年には22,200人となる見込みである。
- ・年少人口、生産年齢人口は、減少、老年人口は増加する見込みである。
- ・平成12年以降は人口減少、平成17年以降は自然減、社会減の状態にあり、社会減を抑制する取り組みを行うことで、令和22年の将来目標人口を23,000人とする。

○投資的経費の推移

- ・町税収入がほぼ横ばいであり、交付税等の依存財源の割合が増加している。
- ・扶助費等の義務的経費や物件費等の消極的経費が増加しており、投資的経費は今後さらに増加する見込みである。

・少子高齢化や人口減少により、今後は収入が減り、支出が増加する状況が見込みである。

・施設の維持管理・更新のための財源確保が今後の課題である。

3.2 検討事項

前提条件に基づき、「老人福祉センター」及び「保健センター」について「町民プール施設」へ、集約化(機能移転)を行う。

4 調査対象施設の分析

4.1 施設概要

4.1.1 町民プール

(1)施設状況



維持管理費(R3 見込)

光熱水費等 6,000 千円(内訳 4月～7月:3,500 千円 8月～3月:2,500 千円)

管理点検委託料 7,000 千円(汚水処理、消防設備保守、施設警備等)

直近改修実績

制御盤シーケンサ取替(H29)、非常照明バッテリー取替(H29)

特記事項

令和3年7月にプール機能廃止

4.1.2 養老町老人福祉センター

(1)施設状況



設置目的

老人福祉法に基づき設置する施設であり、無料または低額な料金で、各種の相談に応じるとともに、高齢者に対して、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする。

主な業務

公衆浴場、社会福祉協議会に係る業務(ふれあいサロン、ボランティア、生活福祉資金貸付)、シルバー人材センターに係る業務(各種職業紹介事業)、レクリエーション活動の場の提供

維持管理費(R3見込)

指定管理料(養老町社会福祉協議会) 10,893 千円

内訳 光熱水費 4,716 千円

管理点検委託料 6,177 千円(定期清掃、ボイラー・空調保守点検)

直近改修実績

トイレ改修工事(R3)

特記事項

浴場は、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年5月より利用停止(継続中)

4.1.3 保健センター

(1)施設状況



設置目的

(保健センター)

地域保健法等に基づき設置する施設であり、住民に対する健康相談、保健指導及び健康診査等を実施することを目的とする。

(地域包括支援センター)

介護保険法に基づき設置する施設であり、介護予防マネジメント事業、総合相談支援事業等包括的支援事業を実施することを目的とする。

主な業務

(保健センター)

母子、歯科、栄養、成人等への保健指導、健康等相談、教室、健診に係る業務、感染症対策(予防接種)に係る業務

(地域包括支援センター)

介護予防ケアマネジメント事業(ケアプランの作成)、権利擁護等総合相談支援業務

維持管理費(R3 見込)

光熱水費 1,600 千円

管理点検委託料 2,200 千円(定期清掃、消火設備保守点検等)

借地料 1,098 千円

直近改修実績

外壁改修(H28)、屋上防水改修(H28、H30)、空調改修(H29、H30)

4.2 今後見込まれる改修工事について

【短期】…直近で必要な改修(施設部位の劣化、故障により機能・性能の異常を把握)

【中長期】…今後 30 年間で必要な改修(長寿命化改修含む、費用は延床面積による推計)

※長寿命化改修…物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修、建設年度から 40 年目で実施を想定

(老人福祉センター)

【短期】 空調設備 50,000 千円

【中長期】 長寿命化改修(5 年以内) 233,778 千円

大規模改修(20 年以内) 97,407 千円

(保健センター)

【短期】 空調設備、外壁改修 30,000 千円

【中長期】 長寿命化改修(10年以内) 145,560 千円

大規模改修(20年以内) 60,650 千円

5 機能集約化した場合の分析

5.1 条件

管理棟のみを対象とする(屋内プール、屋外ジョギングコースは除外)。

5.2 維持管理費の推計

光熱水費	2,500 千円		
委託料 (汚水処理)	3,000 千円	(清掃管理)	1,000 千円
(自動扉保守点検)	90 千円	(昇降機保守点検)	600 千円
(非常通報装置保守点検)	80 千円		
計	7,270 千円		

5.3 機能移転するにあたり、必要な改修費用の推計

【短期】

空調改修(新設・既設更新) 34,400 千円 事務所改修(内装改修) 12,800 千円

トイレ改修(洋式化) 1,200 千円 シャワー室改修(障がい者用設置) 1,000 千円

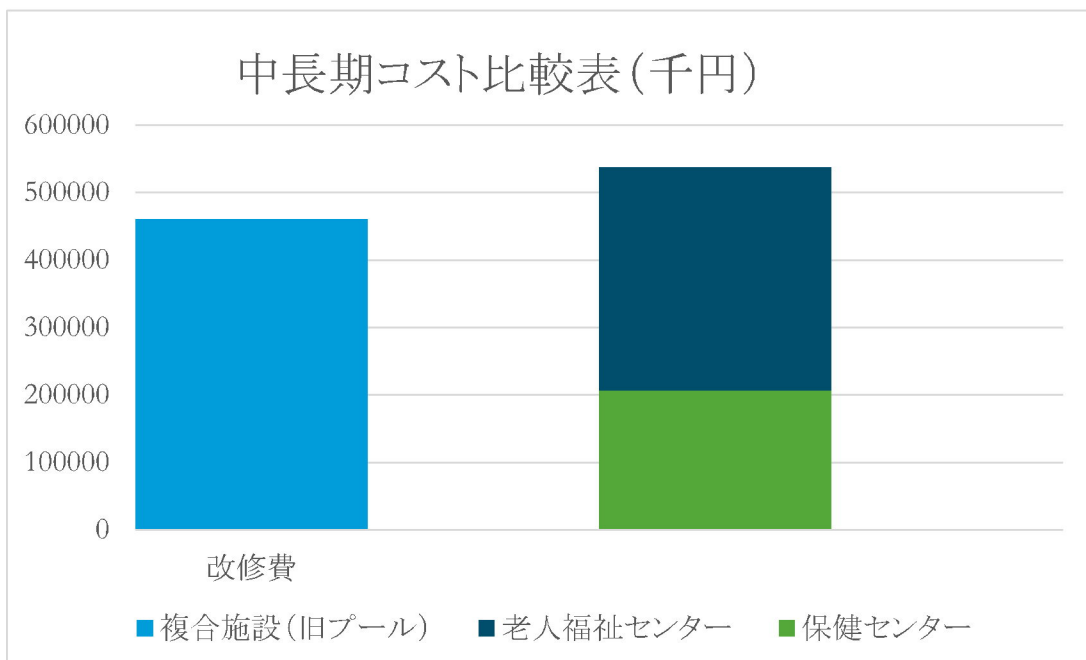
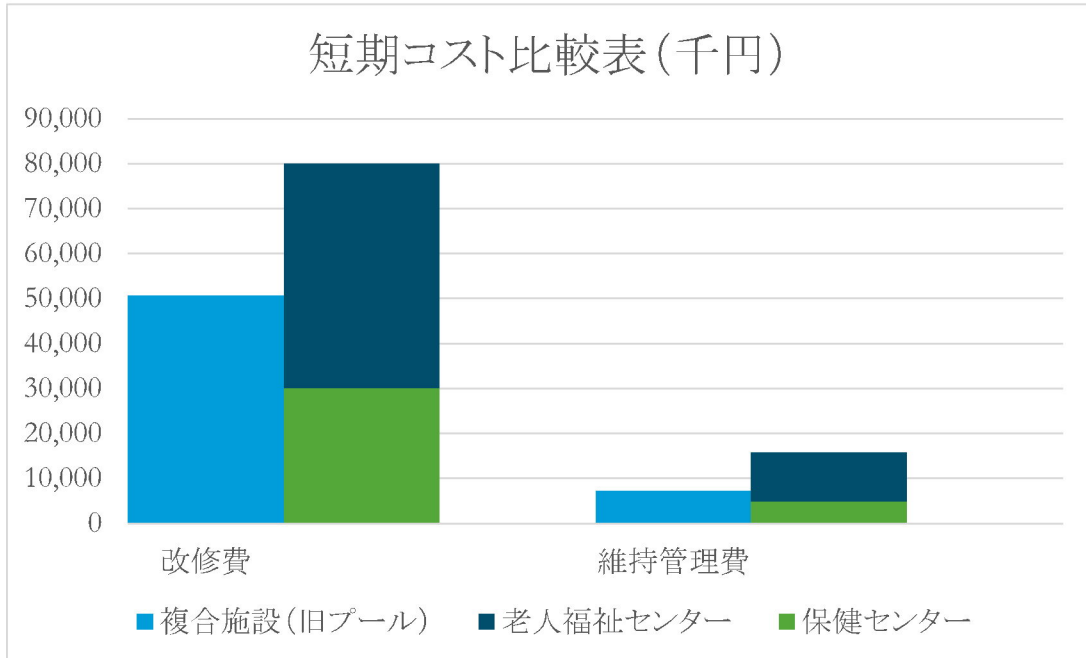
備品購入(授乳室、キッズルーム) 1,400 千円

計 50,800 千円

【中長期】

長寿命化改修(20年以内) 459,864 千円

5.4 コスト比較



6 令和4年度以降の町としての検討事項と進め方について

6.1 町での検討事項

6.1.1 施設機能について

・既存施設を「町民プール施設」に統合していく中で、防災拠点やその他、多目的な利用を含めて検討する必要がある。防災拠点の機能を持たせるのであれば、限定的拠点(震災、土砂災害)として必要な機能(避難所、備蓄倉庫等)の利活用を考慮する。

・空きスペースや屋根付きで全天候型のドーム施設(旧屋内プール)の活用について、長期的視野で検討を行う。また、将来的に空きスペースや空き時間の有効活用について、他市町での民間活用の実績を調査し、検討も行う。

6.1.2 財政負担への影響について

・施設の維持管理及び更新には多額の費用が掛かること、今後の老年人口が増えることに伴う社会保障関係経費の増額、人口減少に伴う町税の減収が見込まれることを踏まえた場合、税負担を増やしてでも、現状の「公共施設サービス」を維持していく必要があるのか、将来世代に大きな負担を残すことがないのか、中長期的な視点を持って、適正に維持することを目指して取り組む必要がある。

・町民の健康寿命を延ばす施設としての機能移転に係る費用を積算し、比較検証をしていく必要がある。

・国等の補助事業を活用しての施設改修を検討するほか、幅広く、活用が見込める補助金の調査を行う。

6.1.2 地域住民への影響について

・ホームページ等で適宜、情報提供を行い、施設整備の充実に加え、地域・経済活性化に対する効果の検討を進める。

6.2 町での進め方

6.2.1 基本方針

- ・保健センターと老人福祉センターの機能移転を基とした複合施設として利活用する。
- ・長期管理において施設整備及び維持管理に係る経費が、従来経費と比較して増額としないことを基本とし、町のシンボリックな機能を持つ施設として残していく。

6.2.2 令和4年度以降の取組について

- ・基本方針に基づき、令和4年において、施設整備に係る詳細設計を行い、複合施設としての改修を進める。